

# 広報 なごや市会だより

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



## 議会の活動

令和元年(2019年)12月 第168号

### 9月定例会特集号

9月定例会は、9月10日から10月9日までの30日間にわたって開かれ、補正予算、条例案や平成30年度決算認定案など市長提出案件48件、議員提出議案5件についての審議などを行いました。

名古屋市会



名古屋市ウェブサイト(市会情報)▶

### 9月定例会の日程

開会	9/10 本会議 市長提出案件について 市長より提案説明	9/13~18 本会議 個人質問 (→詳細は、2・3面)	9/19~26 常任委員会 市長提出案件について 審査	9/27 本会議 市長提出案件などについて 議決 決算認定案について 市長より提案説明	9/30~10/7 常任委員会 決算認定案について 審査	10/9 本会議 決算認定案などについて 議決	閉会
----	---------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	--	---------------------------------------	----------------------------------	----

### 「名古屋市総合計画2023の策定について」を修正可決

●「名古屋市総合計画2023の策定について」は、賛成多数により修正可決しました。

名古屋市総合計画2023は、長期的な展望に立った市政全般に係る政策及び施策の基本的な方向性を総合的かつ体系的に定める計画です。

#### ▼修正の内容▼

相生山緑地事業の推進について、その取り組みを明確にするため、事業概要の文言を一部修正し、関連事業の記載を削除するものです。

#### 〈修正の趣旨〉

- 原案の事業概要では、園路等の定義が明らかでなく、弥富相生山線の道路に関連する部分を含むか否かの解釈がどちらも可能であり、誤解を招く恐れがある。
- 関連事業として記載されている渋滞対策及び通過交通対策は、本来、緑地事業とは区別して記載すべき道路事業である。また、野並交差点・島田交差点の渋滞対策及び相生山緑地近隣地区の通過交通対策は、総合計画への記載の有無にかかわらず、継続事業として今後も引き続き取り組んでいく事業である。



▶「名古屋市総合計画2023の策定について」は、採決に先立ち、日本共産党から反対討論(理由:非正規労働を増やす手法をさらに進める。ささしま地下通路建設や中部国際空港第2滑走路は必要ない。名古屋城天守閣木造復元は立ち止まって市民の意見を聞くべき。公立保育園廃止計画は中止すべき。金持ち優遇の市民税減税は廃止すべき。また、総合計画の修正案については、道路事業の存廃を棚上げしたままでの緑地基本計画はあり得ない。)が行われました。

### ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等検討調査などの補正予算を可決

●「令和元年度名古屋市一般会計補正予算(第3号)」など3件は、いずれも全会一致または賛成多数により原案どおり可決しました。

#### 【主な内容】

(1万円未満は四捨五入)

ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等検討調査 名駅通の歩行者交通量の増加への対応及び名駅南地区のにぎわい創出に関する検討調査	1,500万円
民間障害者支援施設・民間特別養護老人ホームの非常用発電機整備等補助 民間障害者支援施設や民間特別養護老人ホームにおける非常用発電機の整備費及び安全性に問題のあるブロック塀の改修費に対する補助	1億778万円
いじめ防止対策推進法に基づく再調査 名東区の市立中学校生徒の自死事案に関して、いじめ問題再調査委員会を設置し、再調査を実施	619万円
子どもいきいき学校づくり推進審議会委員の報酬 小・中学校の学校規模の適正化に関する事項を調査審議する審議会委員(13人)の報酬	49万円



ささしまライブ24地区の上空から(平成30年1月撮影)

### 平成30年度決算認定案について「認定」または「可決及び認定」

●「平成30年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」など各会計決算認定案19件については、全会一致または賛成多数により、「認定」または「原案どおり可決及び認定」しました。

#### 一般会計の決算状況

- 歳入決算額は1兆2,048億円余、歳出決算額は1兆1,966億円余でした。
- 前年度に比べ歳入は389億円余増加し、歳出は370億円余増加しました。
- 翌年度繰越財源33億円余を差し引いた実質収支は49億円余の黒字でした。

▶「平成30年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」は、採決に先立ち、日本共産党から反対討論(理由:市民税減税により財源不足をつくり出し、市民の暮らしや福祉を削減したこと。過大な需要予測に基づく、大型事業を推進したこと。名古屋城天守閣木造復元は、2022年完成を断念したにもかかわらず、事業の見直しをしていないこと。)が行われました。

提出案件の賛否、決算認定案の委員会審査については、4面をご覧ください。▶

### 議会構成の変更について

前田えみ子議員(減税日本ナゴヤ(当時))の伊勢湾台風に関する不適切な発言を発端として、以下の議会構成の変更が行われました。

#### ●所属委員の変更

9月26日に前田えみ子議員から議会運営委員の辞任願が、前田えみ子議員及び余語さやか議員から常任委員の所属変更の申し出があり、9月27日の本会議において、下記のとおり変更となりました。

		変更前	変更後
常任委員会	経済水道委員	余語さやか	▶ 前田えみ子
	都市消防委員	前田えみ子	▶ 余語さやか
議会運営委員		前田えみ子	▶ 鈴木孝之

#### ●会派の異動

9月27日に「減税日本ナゴヤ」から前田えみ子議員の離団届が提出され、同日、「無所属の会(1人)」が発足しました。

経緯については、4面をご覧ください。▶